



第 6 第 8 号

2024 年 12 月 4 日

つくば市議会議長

様

つくば市の小中学生の学校給食費無償化と地場産・有機食材の拡充を求める請願書

請願団体 新日本婦人の会つくば支部

支部長

つくば市

電話

紹介議員

酒井 泉

山中 真弓

【請願趣旨】

私ども新日本婦人の会つくば支部が 4201 名の賛同を得て、昨年 12 月議会に提出した「つくば市の小中学校の学校給食費無償化と地場産・有機食材の拡充を求める請願書」は、審査の結果、「趣旨採択」となりました。さらに、市議会として、全会一致で「学校給食費無償化の早期実現を国に求める意見書」を内閣総理大臣ほか関係機関に提出いたしました。

学校給食は、子ども達の健やかな成長を保障する学校教育の一環として取り組まれ、セーフティネットの機能も果たしています。憲法第 26 条は「義務教育は無償とする」と定めており、給食費も無償であるべきです。どこに住んでいても家庭の経済的な不安がなく、義務教育を受けられるようにすることは国の責務であると考えます。しかし、政府の来年度予算の概算要求には盛り込まれませんでした。

いま働く人の賃金アップが物価高騰に追いつかず、多くの保護者は経済的に苦しい状況に追い込まれています。「隠れ教育費」とも言われている中でも負担が大きいのが学校給食費です。

学校給食費の無償化は多くの保護者の切実な願いです。県内ではすでに水戸市や土浦市など 21 自治体が国に先駆け実施し、子育て世帯を支援しています。また、2024 年度から青森県、和歌山県、東京都などが公的補助を実施し、学校給食の実施主体である市町村の給食費無償化を支援しています。

いま全国でも県内でも、持続可能な農業と地域の食文化に根ざした食育を推進する動きが広がっています。11 月 8 日、第 2 回全国オーガニック給食フォーラムが県内の常陸大宮市で開催され、学校給食を核に地域循環で子どもたちの健康を守り、有機農業をさらに広げようと学びと交流が図られました。

私たちは、地場産の有機食材が学校給食に取り入れられることを切に望んでいます。未来を担うすべての子どもたちが安心しておいしい学校給食を食べられるように、以下の事項を請願します。

【請願項目】

1. つくば市の小中学生の学校給食費を無償にしてください。
2. 学校給食に地場産・有機食材の拡充をすすめてください。
3. 小中学生の学校給食費を無償化するための財政措置を国及び茨城県に求めてください。